



2017年3月期 第1四半期決算説明会 (2016年4月1日～2016年6月30日)

2016年8月9日



Global Logistics Partner

株式会社 近鉄エクスプレス

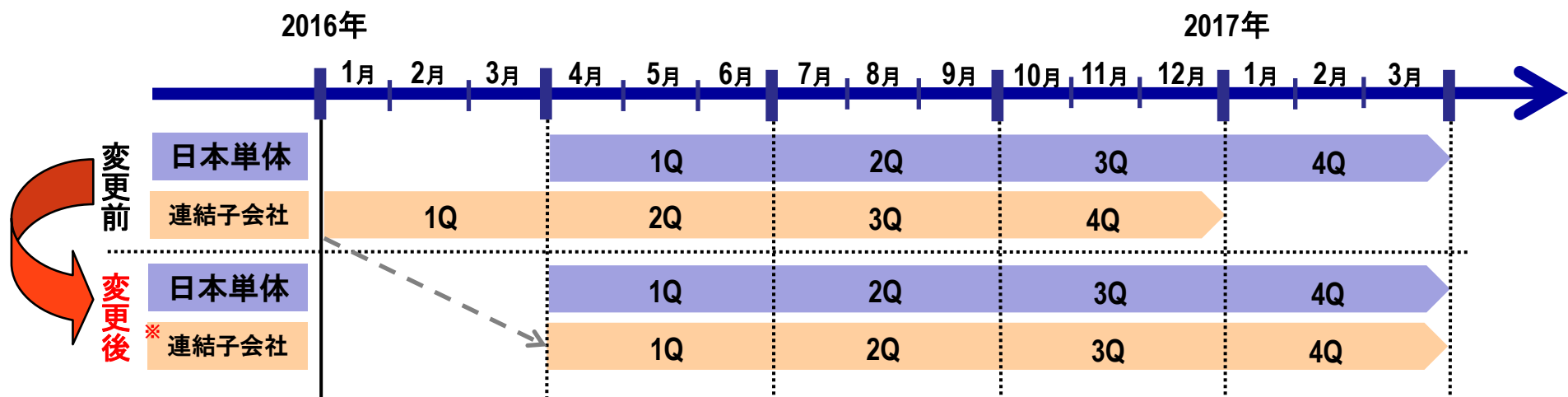
kintetsu world express

連結子会社の決算期統一について

● 2017年3月期より、連結子会社(除くAPLL)の決算期(財務報告期間)を統一

【目的】

- ・期間業績のタイムリーな把握
- ・迅速な情報提供



※ 連結子会社はAPLLを除く。

2017年3月期 第1四半期の業績

金額(百万円)

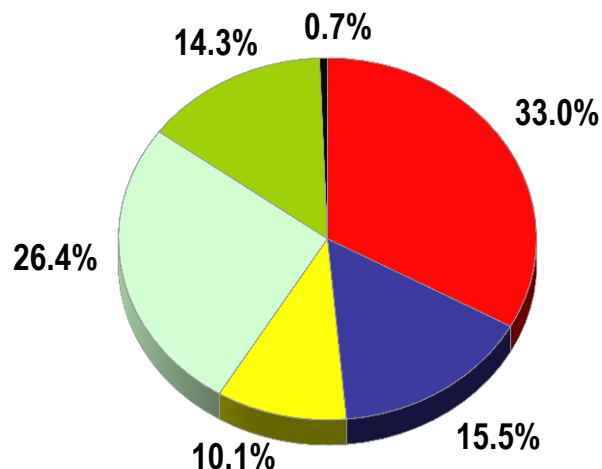
項目	2016年3月期第1四半期実績		2017年3月期第1四半期実績		2017年3月期予想 (※2016/8/9 業績修正発表)	
		前1Q比増減率(%)		前1Q比増減率(%)	第2四半期	通期
営業収入	82,752	10.0%	114,074	37.9%	232,000	481,000
営業総利益	12,564	4.1%	19,665	56.5%	—	—
営業利益	2,564	△19.7%	1,915	△25.3%	5,000	12,500
経常利益	2,846	△20.4%	1,981	△30.4%	5,000	13,000
税金等調整前 四半期純利益	2,843	56.6%	2,407	△15.3%	—	—
親会社株主に帰属 する当期純利益 (旧: 当期純利益)	1,374	108.5%	69	△95.0%	1,500	7,000

適用レート	2016年3月期 第1四半期	2016年3月期	2017年3月期 第1四半期
対USドル	119.09円	121.05円	108.14円
対EURO	134.18円	134.31円	122.02円
対香港ドル	15.35円	15.61円	13.94円
対中国元	19.08円	19.22円	16.53円

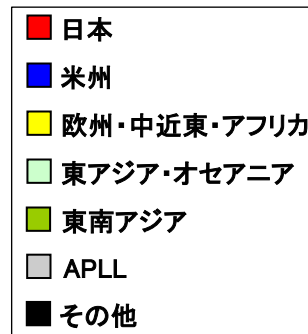
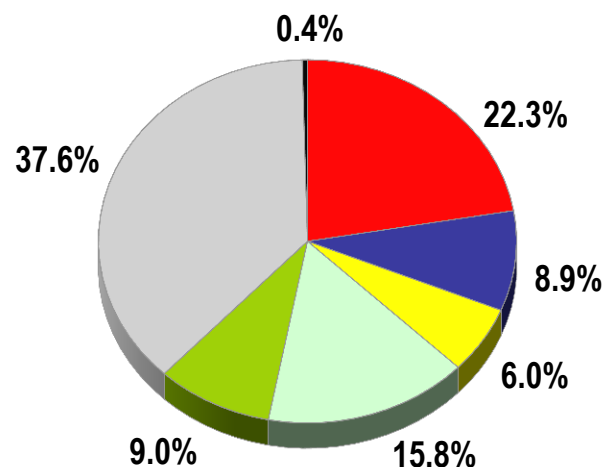
営業収入・営業利益のセグメント別内訳

営業収入のセグメント別構成比

2016年3月期第1四半期



2017年3月期第1四半期



(百万円)

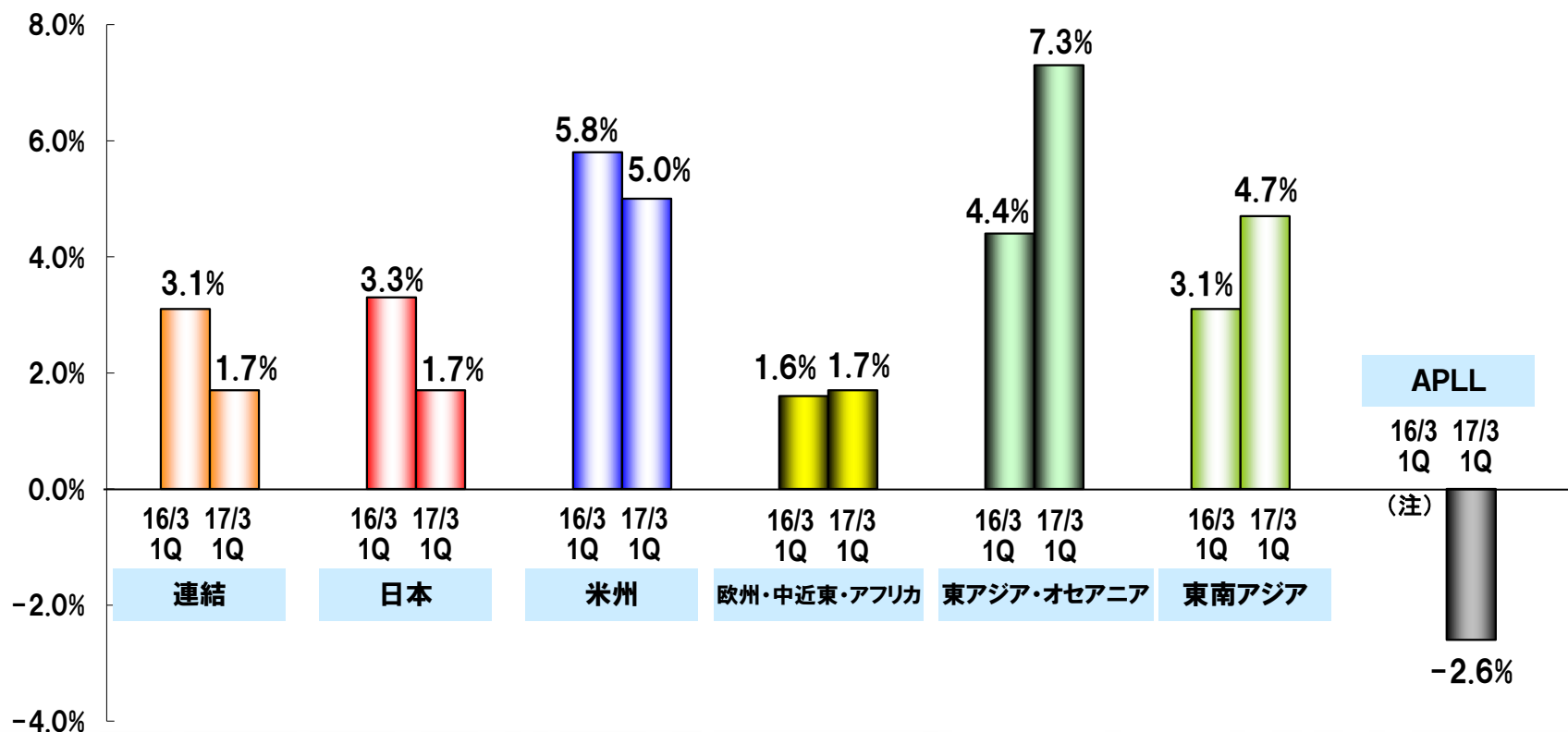
セグメント別	営業収入	前1Q比増減率	営業利益	前1Q比増減率
日本	25,951	△8.2%	452	△51.8%
米州	10,416	△21.7%	522	△32.5%
欧州・中近東・アフリカ	7,031	△19.1%	119	△13.2%
東アジア・オセアニア	18,419	△18.8%	1,340	34.5%
東南アジア	10,449	△14.8%	496	30.9%
APLL	43,879	—	△1,125	—
その他	517	△14.2%	108	△29.5%
調整額	△2,590	—	0	—
合計	114,074	37.9%	1,915	△25.3%

※上記「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に当社グループ内部への物流付帯事業活動を含んでいます。

※APLLの事業上の損益は、2016年3月期第3四半期から連結対象としており、当第1四半期においては比較となる前年同期比はありません。

セグメント別・営業利益率の推移

2016年3月期1Q／2017年3月期1Q
(実績)



(注)※米州、欧州・中近東・アフリカ、東アジア・オセアニア、東南アジアの2016年3月期第1四半期実績は、2015年1月～3月の期間となります。

※APLLの事業上の損益は、2016年3月期第3四半期から連結対象としており、当第1四半期においては比較となる前年同期比はありません。

1 単体は、航空輸送での減収による利益率の悪化により苦戦。

- 単体の営業利益率は前年同期の2.2%から0.7%へ。
- 国内関係会社は前年並みで推移。

2 海外は、米・欧が弱く、東アジア・東南アジアは順調に推移。

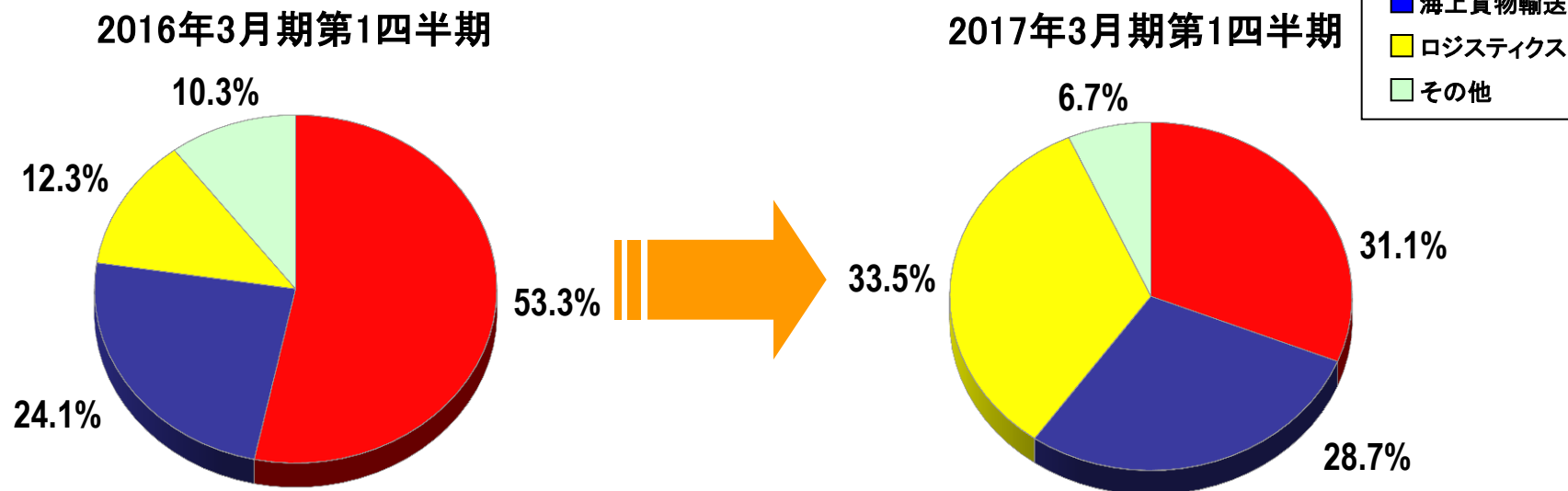
- 海外四極平均の営業利益率は、前年同期の4.0%から5.3%へ（除くAPLL）。
- 米州は前期の米国西岸向け航空輸送増加の反動減が影響。
- 欧州・中近東・アフリカは、ロシア、アイルランド等が低調。
- 東アジア・オセアニアは、航空物量が減少も収益性が向上。
- 東南アジアは、販売拡大等により、前期からの回復基調が継続。

3 APLLは利益面で想定を下回る業績で推移。

- ・自動車関連の物流サービスは概ね堅調。リテール、消費財、ハイテク関連の物流サービスは顧客によって濃淡はあるものの、総じて活況感到に乏しい基調で推移。
- ・海上貨物輸送が低調。
- ・旧親会社からの分離に伴う経営基盤強化の費用の計上やのれん等の償却により、1,125百万円の営業損失を計上。

営業収入の事業別内訳

営業収入の事業別構成比



(百万円)

各事業		2016年3月期第1四半期 (実績)		2017年3月期第1四半期 (実績)	
		営業収入		営業収入	
貨物輸送事業	航空貨物輸送	44,071	35,489	△19.5%	
	海上貨物輸送	19,928	32,779	64.5%	
	ロジスティクス	10,191	38,193	274.7%	
	その他	8,560	7,612	△11.1%	
合計		82,752	114,074	37.9%	

2017年3月期業績見通し(予想)

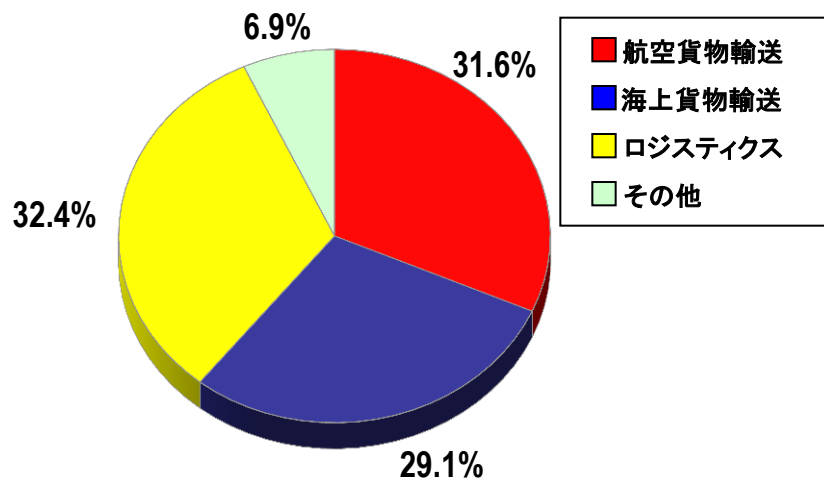
<2016年8月9日に修正>

(百万円)

項目	2017年3月期(当初予想)		2017年3月期(今回修正予想)	
		前期比増減率 (%)		前期比増減率 (%)
営業収入	534,000	27.1%	481,000	14.5%
営業総利益	91,964	28.2%	86,097	20.0%
営業利益	16,400	6.8%	12,500	△18.6%
経常利益	17,000	△5.1%	13,000	△27.4%
税金等調整前 当期純利益	17,000	△4.7%	13,500	△24.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	9,800	0.3%	7,000	△28.4%

2017年3月期業績予想の 事業別・セグメント別内訳 (8月9日修正)

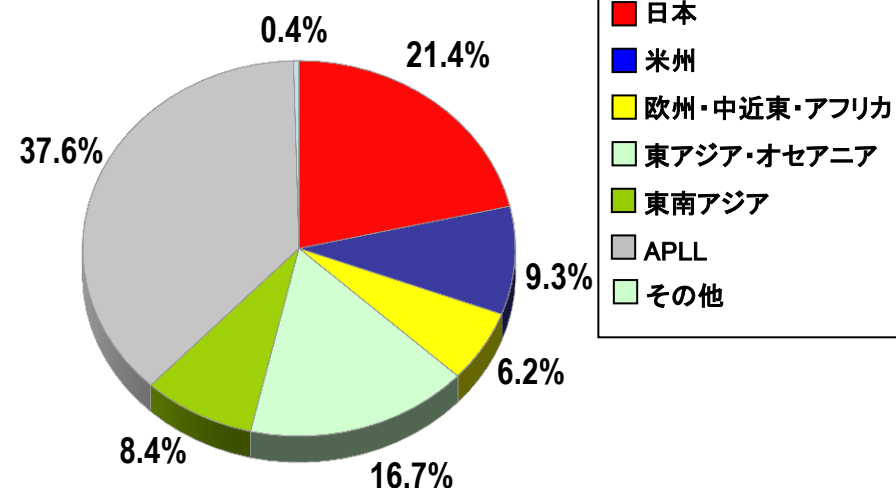
営業収入の事業別内訳



(百万円・%)

各事業		2017年3月期(予想)	
		営業収入	構成比
貨物輸送事業	航空貨物輸送	152,100	31.6%
	海上貨物輸送	139,700	29.1%
	ロジスティクス	155,900	32.4%
	その他	33,300	6.9%
合計		481,000	100.0%

営業収入のセグメント別内訳



(百万円)

セグメント別	2017年3月期(予想)	
	営業収入	営業利益
日本	105,300	4,000
米州	46,000	2,900
欧州・中近東・アフリカ	30,400	900
東アジア・オセアニア	82,000	5,200
東南アジア	41,100	2,000
APLL	184,600	△2,800
その他	2,000	300
調整額	△10,400	0
合計	481,000	12,500

今後の基本施策について

中期経営計画(2016年度～2018年度)の概要

ビジョン

サプライチェーンソリューションの提供により、お客様の事業戦略を支えるパートナーになる。

スローガン

“ Going to the Next Phase !”

2018年度数値目標

営業収入：6,340億円 営業利益：220億円
物量：航空貨物 70万トン 海上貨物 70万TEU

<戦略の柱>

業界で最も多彩なサービスを提供する

生産・消費市場でお客様の物流ニーズを実現する

コーポレート力を結集し生産性を高める

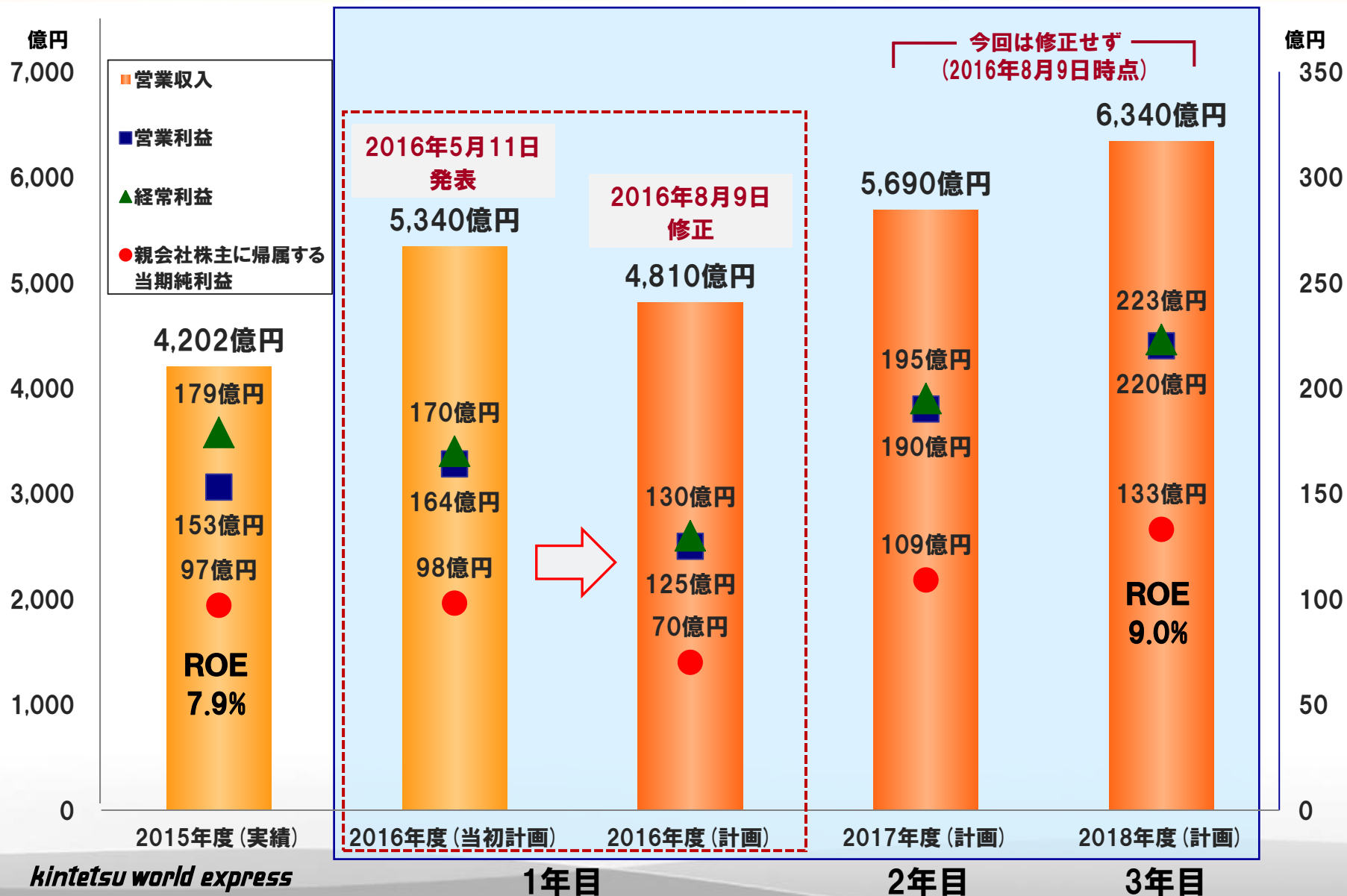
<戦略を支える経営基盤>

コーポレトリソースの
有効活用

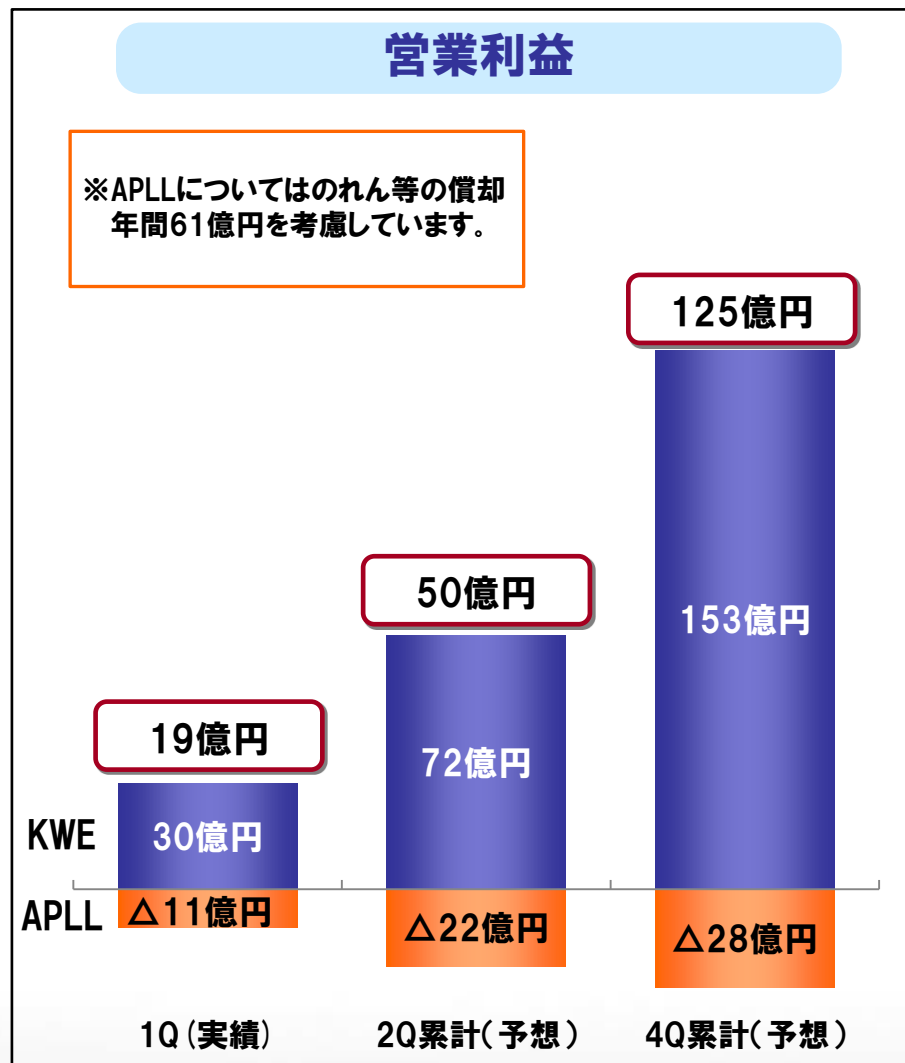
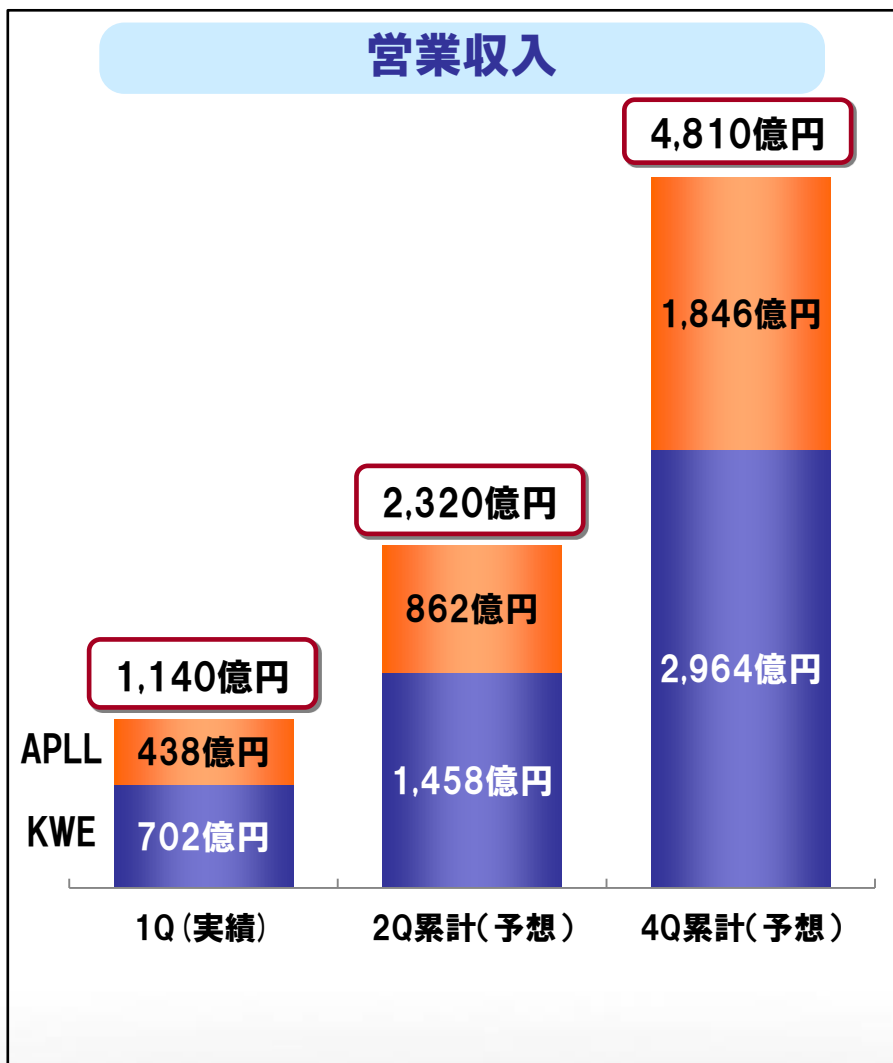
コーポレトリスク
管理の強化

業務品質の向上

中期経営計画3カ年の業績数値目標(連結)



2016年度 業績数値予想(KWE、APLL)



1. 日本単体の収支改善の実行

利益率改善への注力。

2. APLLの経営基盤強化の推進。

旧親会社からの分離に伴う経営基盤の強化。

3. 海上事業の強化

日系荷主を中心にオフショア・ビジネスをさらに拡大。
グローバル契約を通じた友好キャリアとの関係強化。

4. ロジスティクス事業の収支改善の推進・継続

中計3年間(2016年度～2018年度)は、KWE、APLLともに将来のジャンプに向けた「体制整備を行う3年間」。

1. KWEとAPLLがそれぞれの事業領域で実力をつけ成長を目指すとともに、協業を通じて事業領域の拡大を図る。
2. KWEにとって最重点課題は、物量の拡大(航空・海上)。
グローバル・プレーヤーとして認知されるため、また、APLLとの共同販売での成果を最大限創出するためにも、物量の拡大は不可欠。
最大の強みであるフォワーディング事業を強化することに原点回帰し、収益性・利益確保を考慮しつつも、戦略的な意図をもって物量拡大を実現していく。
3. APLLにおいては、旧親会社からの分離に伴う経営基盤の強化の費用をコントロールしながら確実な体制整備を行う。

さすがだね、を世界中で。



Global Logistics Partner

本資料ならびにIR関係のお問合せにつきましては、下記までお願いいたします。

株式会社近鉄エクスプレス 総務部 IR担当 木村、高橋

TEL:03-6863-6443 FAX:03-5462-8501

ホームページ <https://www.kwe.co.jp>

※ 本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。また、将来に亘る部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。